

タイを拠点とした東南アジア展開 ～鳥取県「東南アジアビューロー」開設レセプション～

シンガポール事務所

鳥取県は、中小企業の連携促進を目的として、タイ工業省との間で協力覚書（MOU）を締結しました。覚書の概要は、情報・意見交換など連絡強化、ビジネス交流プログラム・セミナー・展示会実施などを通じた中小企業支援です。また、県内企業の販路開拓支援、観光客誘致などを目的として、11月12日、タイ・バンコクに「鳥取県東南アジアビューロー」が開設されました。

■鳥取県の観光・名産の魅力

11月12日にタイ進出の鳥取県企業、タイの飲食業、旅行業関係者等を招いて行われた「東南アジアビューロー」の開設を記念したレセプションでは、平井伸治知事からタイと鳥取の交流の歴史は17世紀にさかのぼること、「ガイナーレ鳥取」に日本のプロサッカーチーム初のタイ人監督が就任したことなど、鳥取県とタイの結びつきが深いことが紹介されました。招待客は、鳥取県の観光名所がスライドで紹介される中、名産である「白イカ」「梨」「ねばりっこ（長いも）」を楽しみ、鳥取県の魅力が凝縮された催しとなりました。「名探偵コナン」「ゲゲゲの鬼太郎」が紹介されるとともに、鳥取県出身の漫画家が招待客の似顔絵を描くコーナーも設置され、注目を集めていました。

同時期には、バンコク中心部の百貨店「エンポリアム」において、鳥取県の物産展が開催されました。

「東南アジアビューロー」を拠点として、タイをはじめ東南アジアに鳥取県の物産、観光の魅力がさらに発信されていくことが期待されています。



【鳥取県「東南アジアビューロー」開設レセプションの様子】

(新山所長補佐 東京都大田区派遣)